PST

仕事の実力をつける
問題解決18のトレーニングコース

「仕事の実力」を高め、問題解決のプロとして自立する

集合研修　オンライン

対　象	入社5～12年目程度の中堅社員の方
日　程	3日間
最適定員	20名
職場実践	■「上司用サポートブック」を活用した職場フォロー

カリキュラム

1日目

■ **オリエンテーション**
■ **トレーニング1（思考の扉）**
■ **問題解決の基本ステップ**
・問題の設定～検証・改善
■ **トレーニング2［実務演習①］**
・検証・改善　個人ワーク→代表者発表→ペアワーク
■ **問題の設定**
・問題とは、要因抽出　・トレーニング3、4、5、6（実践ワーク）
■ **トレーニング7（ケーススタディ）**
・要因抽出・真因追究　個人ワーク→グループワーク→発表
■ **問題解決の3つの思考**
・目的を問う、顧客に起点を置く、問題の見方を変える　・トレーニング8、9（実践ワーク）

2日目

■ **トレーニング10（思考の扉）**
■ **問題設定の3つの思考:続き**
・トレーニング11（実践ワーク）
■ **トレーニング12（ケーススタディ）**
・問題解決　個人ワーク→グループワーク→発表
■ **トレーニング13［実務演習②］**
・問題の設定　個人ワーク→代表者発表→ペアワーク
■ **課題・目標設定**
・課題表現、目標、先行指標　・トレーニング14（実践ワーク）
■ **トレーニング15［実務演習③］**
・課題・目標設定　個人ワーク→代表者発表→ペアワーク

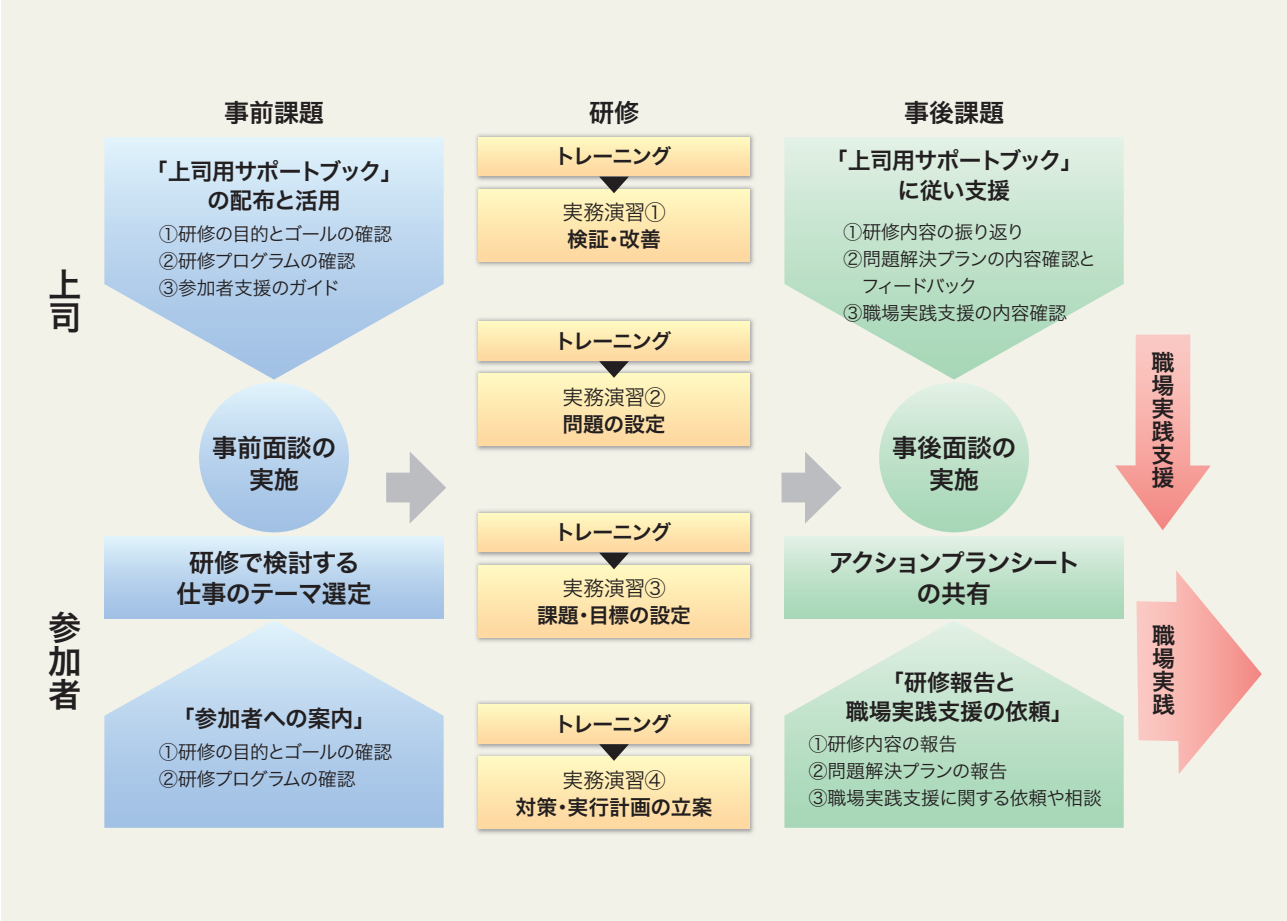
3日目

■ **トレーニング16（思考の扉）**
■ **対策・実行計画の立案**
・オズボーンのチェックリスト　・アクション洗い出し
■ **トレーニング17（ケーススタディ）**
・対策・アクション洗い出し　個人ワーク→グループワーク→発表
■ **トレーニング18［実務演習④］**
・対策・実行計画の立案　個人ワーク→代表者発表→ペアワーク
■ **実行**
・創発行動

※お客様の立場から自社の問題をとらえ直し、発見・改善することを目的とした「顧客視点で学ぶ問題解決コース」もあります。

問題解決力を磨き、仕事の実力を確立する

仕事は問題解決そのものです。
本コースでは、問題解決の基本となる考え方・ステップ・技法を、
ケーススタディと現実のテーマを使って徹底的に学習し、仕事の実力を高めます。



問題解決スキルを徹底的にトレーニング

18の演習により問題解決スキルを徹底的にトレーニングします。問題解決のステップごとに技法のトレーニングと仕事上の問題を使った実務課題を交互に繰り返すことで、職場で即実践できる業務の改善案がアウトプットされます。

職場実践につなげるしくみ

上司用サポートブックを使って、学習のための研修ではなく、アウトプットされた「業務の改善案」を職場実践につなげるしくみを提供します。